

工業用水道事業

1. 事業の概要

《旧工業用水道事業（旧1期工水）》

本市の工業用水道は、昭和26年3月に日量10,000m³の認可を受け、3ヶ年計画で工業用水道施設の建設に着手(事業費：40,000千円)し、昭和29年4月から大竹紙業(株)(現：三島製紙(株))に供給を開始したことに始まります。(それまでの工業用水の供給は上水道施設から行われていました。)

昭和31年には広島県が洪水調節と工業用水の確保を目的とした多目的ダムである小瀬川ダムを小瀬川上流に築造着手し、昭和39年6月に完成をみました。

このダムの建設に要した広島県負担額約8億8,446万円(総事業費：約17億6,892万円)のうち、本市は2億6,357万円を負担し、日量38,400m³(三井東圧化学工業(株)に日量24,000m³、日本紙業(株)(現：日本製紙(株))に日量14,400m³)の水利権を確保するとともに昭和36年から4ヶ年計画で工業用水道拡張事業を実施(総事業費：約5億8,702万円)し、昭和39年10月に完成、全面給水を開始しました。この事業により、工業用水道施設と上水道施設を完全に分離しました。

昭和46年には御園地区の湧水(地下水)日量1,000m³/日を確保し、本市の衛生センター(現：環境整備課)に供給を開始しました。

昭和61年3月に、三井東圧化学工業(株)が本市から撤退するという事態もありましたが、現在は日本製紙(株)大竹工場へ日量14,400m³、日本製紙(株)大竹工場北へ日量12,000m³、(株)ダイセルへ日量12,000m³、中国塗料(株)へ日量2,000m³、大竹明新化学(株)へ日量1,200m³、戸田工業(株)へ日量4,000m³、環境整備課へ日量1,000m³、合計7ヶ所に対し、日量46,600m³の給水契約を交わしており、未契約分は日量2,800m³となっています。

《旧第2期工業用水道事業（旧2期工水）》

平成3年3月に建設省が洪水調節と利水(都市用水)の確保を目的とした多目的ダムである弥栄ダムが完成し、広島県が日量30,000m³のダム使用権を取得しました。

その後、広島県施行の大竹港東栄地区港湾整備事業に伴い造成される埋立工業用地に立地する企業に対して工業用水を安定給水するため、平成6年1月に広島県が取得していましたダム使用権を本市が承継する契約を締結するとともに整備事業に着手し、平成16年3月に施設整備を完了しました。

平成24年度は(株)ダイセルへ日量16,000m³、日本製紙(株)大竹工場へ日量4,000m³、合計2ヶ所に対し、日量20,000m³の給水契約を交わしており、未契約分は日量10,000m³となっています。

※平成23年4月1日に本市の工業用水道事業を統合し、水の相互融通による安定給水の確保と施設の有効利用を図っています。

2. 業 務

(1) 給水先数

別種別	年度		比 較	
	平成24年度	平成23年度	増 減	比率
工業用水道	7カ所	7カ所	0	100.0%

(2) 年間配水量及び有収水量

別種別	年度		比 較	
	平成24年度	平成23年度	増 減	比率
配水量	m ³ 11,836,475	m ³ 16,787,060	m ³ △ 4,950,585	% 70.5
1日平均配水量	32,429	45,866	△ 13,437	70.7
1日最大配水量	H24. 3.27 47,695	H23. 8.29 52,210	△ 4,515	91.4
有収水量	11,043,643	16,348,022	△ 5,304,379	67.6
1日平均有収水量	30,257	44,666	△ 14,409	67.7
有収率	93.3%	97.4%	△4.1%	—

(3) 年間給水先別有収水量

別給水先別	年度		年度		比 較	
	平成24年度	平成23年度	有収水量	構成比	増 減	比率
日本製紙(株) 大竹工場	m ³ 1,846,790	% 16.7	m ³ 5,006,119	% 30.6	m ³ △ 3,159,329	% 36.9
日本製紙(株) 大竹北工場	2,637,450	23.9	4,082,610	25.0	△ 1,445,160	64.6
(株)ダイセル	5,517,729	49.9	6,091,415	37.3	△ 573,686	90.6
中国塗料(株) 大竹明新化学(株)	749,120	6.8	850,960	5.2	△ 101,840	88.0
戸田工業(株)	261,430	2.4	285,940	1.7	△ 24,510	91.4
環境整備課	31,124	0.3	30,978	0.2	146	100.5
合 計	11,043,643	100.0	16,348,022	100.0	△ 5,304,379	67.6

(4) 給水実績表

会社名	大日本製紙工場	大日本製紙工場	大日本北製紙場	(株)ダイセル	大中国新塗料化学(株)	戸田工業(株)	環境整備課	臨時給水	合計
契約水量(m ³ /日)	18,400	12,000	28,000	3,200	4,000	1,000	—	66,600	
平成24年度	年間給水量 1,846,790	2,637,450	5,517,729	749,120	261,430	31,124	—	11,043,643	
	1日平均給水量 5,060	7,226	15,117	2,053	716	85	—	30,257	
平成23年度	年間給水量 5,006,119	4,082,610	6,091,415	850,960	285,940	30,978	—	16,348,022	
	1日平均給水量 13,678	11,154	16,643	2,325	781	85	—	44,666	
平成22年度	年間給水量 5,033,693	4,026,398	5,133,562	882,860	298,684	34,096	—	15,409,293	
	1日平均給水量 13,791	11,031	14,065	2,419	818	93	—	42,217	
平成21年度	年間給水量 4,761,761	4,048,330	4,400,473	816,950	255,053	31,201	—	14,313,768	
	1日平均給水量 13,046	11,091	12,056	2,238	699	85	—	39,215	
平成20年度	年間給水量 4,743,510	4,314,160	4,773,718	828,720	294,574	40,906	—	14,995,588	
	1日平均給水量 12,996	11,820	13,079	2,270	807	112	—	41,084	
平成19年度	年間給水量 4,752,919	4,308,220	5,395,658	862,117	365,992	46,987	—	15,731,893	
	1日平均給水量 12,986	11,771	14,742	2,356	1,000	128	—	42,983	
平成18年度	年間給水量 4,911,493	4,320,777	4,142,639	775,317	311,041	38,198	54,418	14,553,883	
	1日平均給水量 13,456	11,838	11,350	2,124	852	105	149	39,874	
平成17年度	年間給水量 4,991,741	3,658,090	4,136,461	917,903	279,872	65,980	—	14,050,047	
	1日平均給水量 13,675	10,022	11,333	2,515	767	181	—	38,493	

3. 料金

(1) 工業用水道料金の推移(単位：円/㎥)

ア. 旧第1期工業用水道事業

年月日 料率 種別	昭和40年4月1日			昭和43年4月1日			昭和45年4月1日			昭和47年9月1日			昭和49年4月1日			備考
	基本料率	超過料率	特定料率	基本料率	超過料率	特定料率	基本料率	超過料率	特定料率	基本料率	超過料率	特定料率	基本料率	超過料率	特定料率	
1 種	4.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	4.50	5.00	5.00	4.50	5.00	5.00	4.50	5.00	5.00	三井東圧化学工業(株) 日本紙業(株) (現 日本製紙(株))
2 種	3.00	5.00	5.00	3.70	5.00	5.00	3.70	5.00	5.00	4.70	5.00	5.00	4.70	5.00	5.00	大竹紙業(株) (現 日本製紙(株)) 衛生センター (現 環境整備課)

(注) 金額は消費税等抜き。

年月日 料率 種別	昭和50年10月1日			昭和62年9月1日			平成8年4月1日			備考
	基本料率	超過料率	特定料率	基本料率	超過料率	特定料率	基本料率	超過料率	特定料率	
1 種	11.00	13.00	13.00	11.00	13.00	13.00				S61.4.1 三井東圧化学工業(株)撤退, 戸田工業(株), 中国塗料(株)及び 明新産業(株) (現 大竹明新化学(株)) 給水開始 S61.6.1 ダイセル化学工業(株) (現 関ダイセル), 日本紙業(株) (現 日本製紙(株)) 給水開始
2 種	10.00	13.00	13.00	11.00	13.00	13.00	13.50	16.00	16.00	大竹紙業(株) (現 日本製紙(株)), 清掃センター (現 環境整備課)

イ. 旧第2期工業用水道事業

(注) 金額は消費税等抜き。

年月日 料率 種別	平成16年4月1日			備考
	基本料率	超過料率	特定料率	
	45.00	53.00	53.00	ダイセル化学工業(株) (現 関ダイセル) 日本大昭和板紙(株) (現 日本製紙(株))

(2) 給水先別料金収入

(注) 金額は消費税等抜き。

給水先別	年度別		平成24年度		平成23年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	比率		
	円	%	円	%	円	%		
日本製紙(株) 大竹工場	128,814,817	23.9	135,827,736	24.8	△7,012,919	94.8		
日本製紙(株) 大竹北工場	55,122,135	10.2	57,508,510	10.5	△2,386,375	95.9		
(株)ダイセル	318,566,573	59.1	316,606,184	58.0	1,960,389	100.6		
中国塗料(株) 大竹明新化学(株)	14,804,576	2.8	14,875,080	2.7	△70,504	99.5		
戸田工業(株)	16,953,289	3.1	16,964,486	3.1	△11,197	99.9		
環境整備課	4,927,500	0.9	4,930,348	0.9	△2,848	99.9		
合計	539,188,890	100.0	546,712,344	100.0	△7,523,454	98.6		

4. 工事

(1) 保存工事の概況

(注) 金額は消費税等込み。

区分	工事内容	工事費			備考
		修繕費等	材料費	計	
		円	円	円	
原水及び送水設備	接合井補修工事外4件	3,412,500	0	3,412,500	
合計		3,412,500	0	3,412,500	